

平成27年9月の鉱工業活動 図表集

平成27年11月13日
経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成27年9月 鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	97.4	96.8	113.6	115.5
前月比	1.1%	1.4%	▲ 0.4%	▲ 3.1%
指数水準	H27.7 97.5以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H27.4 97.9以来 I H20.1, 2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H27.5 112.9以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12,H22.9 99.1	H27.7 112.2以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	3か月ぶり+ (H27.6以来)	3か月ぶり+ (H27.6以来)	2か月ぶり▲ (H27.7以来)	2か月ぶり▲ (H27.7以来)
前月比幅	H27.6 1.1%以来 (超) H27.4 1.2%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H27.1 5.5%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H27.1 5.5%	H27.7 ▲0.8%以来 ①H23.3 ▲5.8% ②H21.2 ▲3.9% ③H21.3 ▲3.1%	H27.1 ▲3.3%以来 ①H23.6 ▲11.7% ②H21.6 ▲6.7% ③H21.3 ▲6.0%
前年同月比(原指数)	▲ 0.8%	▲ 1.5%	2.1%	3.6%
前年同月比の動き	2か月連続▲ (H27.8～当月) ・直近で2か月以上連続▲ 6か月連続▲ (H26.10～H27.3)	2か月ぶり▲ (H27.7以来)	17か月連続+ (H26.5～当月) ・直近で17か月以上連続+ 22か月連続+ (H23.5～H25.2)	17か月連続+ (H26.5～当月) ・直近で17か月以上連続+ 20か月連続+ (H20.3～H21.10)
前年同月比幅	H27.5 ▲ 3.9%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H27.5 ▲ 3.2%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H27.8 2.1%以来 (超) H27.7 2.7%以来 I H24.3, 4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H27.5 6.4%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

1) ▲はマイナス

2) I～IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

平成27年7～9月期 鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫(期末)	在庫率
季調済指数	97.1	96.2	113.6	115.6
前期比	▲ 1.2%	▲ 0.6%	▲ 0.9%	1.4%
指数水準	H25. II 96.1%以来 ①H21. I 79.3 ②H21. II 83.5 ③H21. III 88.6	H25. II 95.5以来 ①H21. I 80.7 ②H21. II 83.0 ③H21. III 88.2	H27. I 113.4以来 ①H23. I 97.7 ②H21. IV、H22. III 99.1 ③H22. I 99.6	H24. IV 117.7以来 I H21. I 150.7 II H21. II 132.4 III H20. IV 123.8
前期比の動き	2期連続▲ (H27. II～当期) ・直近で2期以上連続▲ 2期連続▲ (H26. II～26. III) (超)3期連続▲ (H24. II～24. IV)	2期連続▲ (H27. II～当期) ・直近で2期以上連続▲ 2期連続▲ (H26. II～26. III) (超)3期連続▲ (H24. II～24. IV)	7期ぶり▲ (H25. IV以来)	2期連続+ (H27. II～当期) ・直近で2期以上連続+ 3期連続+ (H26. II～26. IV)
前期比幅	H27. II ▲1.4%以来 ①H21. I ▲20.5% ②H20. IV ▲9.7% ③H23. II ▲4.1%	H27. II ▲2.4%以来 ①H21. I ▲18.5% ②H20. IV ▲9.5% ③H23. II ▲8.6%	H25. IV ▲1.9%以来 ①H21. I ▲7.2% ②H21. II ▲5.9% ③H23. I ▲4.2%	H27. II 1.5%以来 I H21. I 21.7% II H20. IV 18.1% III H23. II 10.5%
前年同期比(原指数)	▲ 0.4%	▲ 0.6%	2.1%	2.1%
前年同期比の動き	5期連続▲ (H26. III～当期) ・直近で5期以上連続▲ 6期連続▲ (H20. III～21. IV)	5期連続▲ (H26. III～当期) ・直近で5期以上連続▲ 6期連続▲ (H20. III～21. IV)	6期連続+ (H26. II～当期) ・直近で6期以上連続+ 7期連続+ (H23. II～24. IV)	6期連続+ (H26. II～当期) ・直近で6期以上連続+ 10期連続+ (H19. II～21. III)
前年同期比幅	H27. II ▲0.5%以来 ①H21. I ▲33.2% ②H21. II ▲27.3% ③H21. III ▲19.7%	H27. I ▲2.4%以来 ①H21. I ▲33.1% ②H21. II ▲27.7% ③H21. III ▲19.2%	H27. II 4.0%以来 ①H24. I 12.1% ②H23. III 8.1% ③H26. IV、H27. I 6.2%	H27. II 4.8%以来 I H21. I 56.2% II H21. II 35.6% III H23. II 16.5%

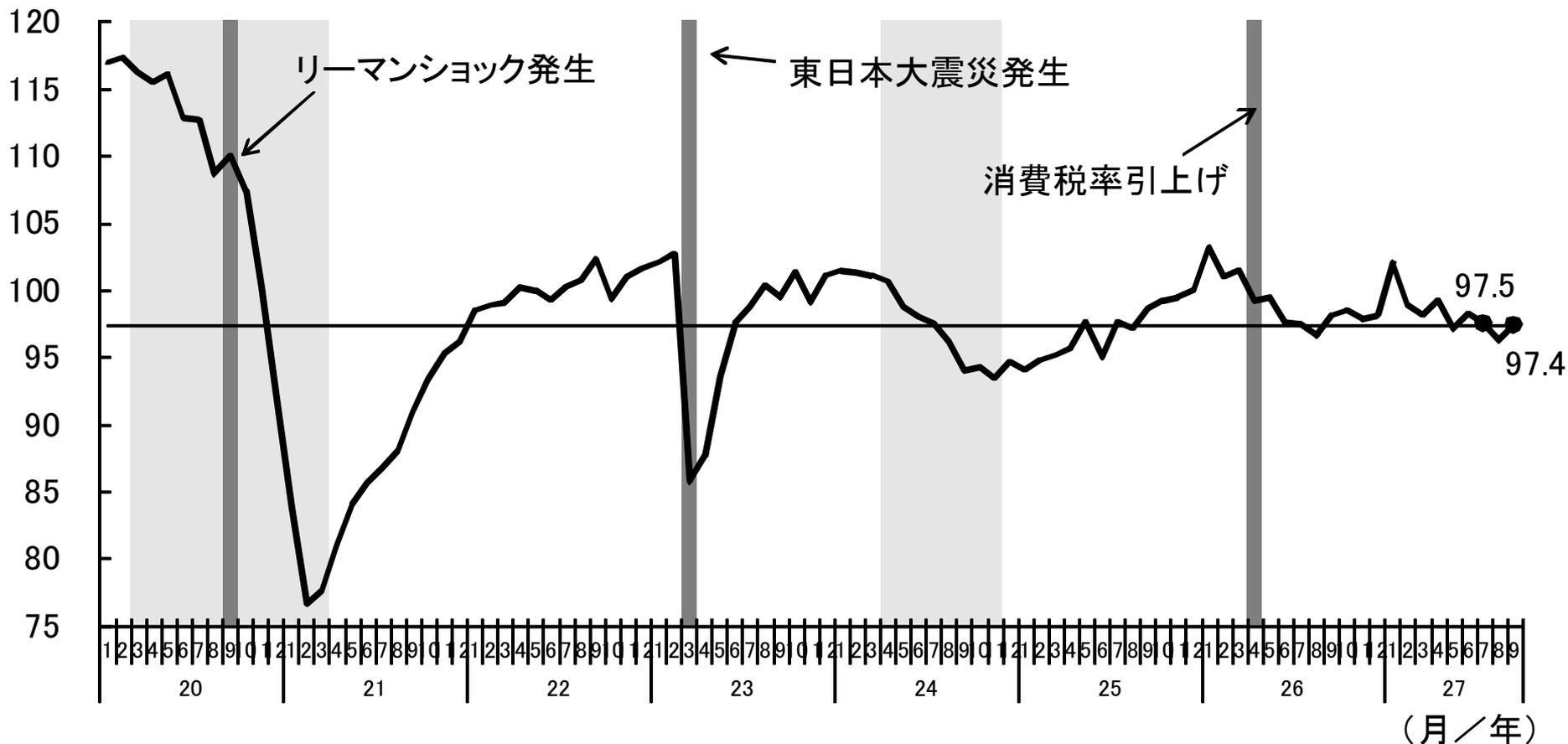
1) ▲はマイナス

2) I～IIIは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- 平成27年9月の生産指数は97.4(前月比+1.1%)と3か月ぶりの上昇。
- 平成27年7月の97.5以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



- (注) 1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 薄色のシャドー部分は景気後退局面。

鋳工業生産を大きく動かした品目

業種別

		業種・品目名	前月比	寄与率
○ 鋳工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	化学工業	4.3%	47.6%
	品目	化粧品 有機薬品	11.2% 10.9%	26.5% 10.7%
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	5.9%	42.4%
	品目	電子部品 集積回路	8.9% 8.2%	31.6% 22.1%
	3位の業種	電気機械工業	5.6%	32.8%
	品目	民生用電気機械 回転電気機械	7.5% 5.8%	8.3% 5.1%
○ 鋳工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 4.7%	▲ 60.2%
	品目	半導体・フラットパネル製造装置 土木建設機械	▲ 19.1% ▲ 11.1%	▲ 34.1% ▲ 17.4%
	2位の業種	窯業・土石製品工業	▲ 1.4%	▲ 4.0%
	品目	ファインセラミックス ガラス・同製品	▲ 3.7% ▲ 1.2%	▲ 2.7% ▲ 1.3%
	3位の業種	食料品・たばこ工業	▲ 0.6%	▲ 3.3%
	品目	清涼飲料 酒類	▲ 1.6% ▲ 1.6%	▲ 2.6% ▲ 2.3%

寄与率： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い
全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる

※ **業種別** **全体** 内の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した
分類によるもの。

全体

		品目名	前月比	寄与率
○ 鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	電子部品	8.9%	31.6%
	2位	化粧品	11.2%	26.5%
	3位	集積回路	8.2%	22.1%
○ 鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	▲ 19.1%	▲ 34.1%
	2位	土木建設機械	▲ 11.1%	▲ 17.4%
	3位	金属工作機械	▲ 12.7%	▲ 15.1%

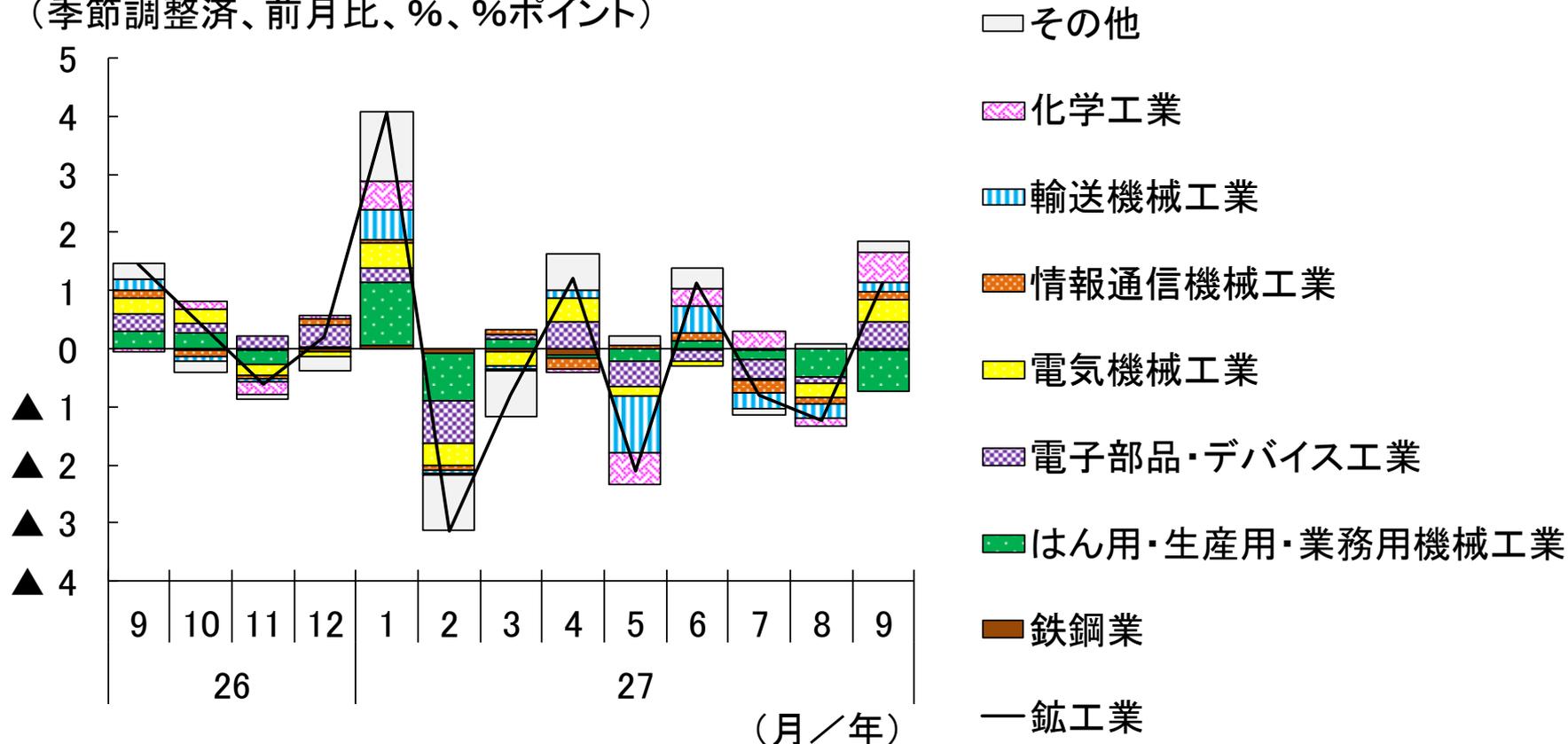
財別 (=用途別)

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.6%	114.8%
		アクティブ型液晶素子(中・小型)	44.8%	35.2%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	19.2%	21.8%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	1.6%	14.1%
		セパレート形エアコン	25.6%	14.7%
		軽乗用車	6.5%	4.1%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	1.1%	13.4%
		モイスチャークリーム	41.8%	9.2%
		シャンプー	18.7%	4.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	2.1%	10.2%
		橋りょう	37.6%	10.8%
		ガス風呂がま	7.8%	1.6%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	▲ 3.5%	▲ 48.1%
		半導体製造装置	▲ 22.9%	▲ 32.9%
		シヨベル系掘削機械	▲ 11.9%	▲ 13.2%

鋳工業生産への業種別寄与度分解

- 平成27年9月の生産指数(前月比、季節調整済)は、はん用・生産用・業務用機械工業が低下したものの、化学工業などが上昇したため、前月比+1.1%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

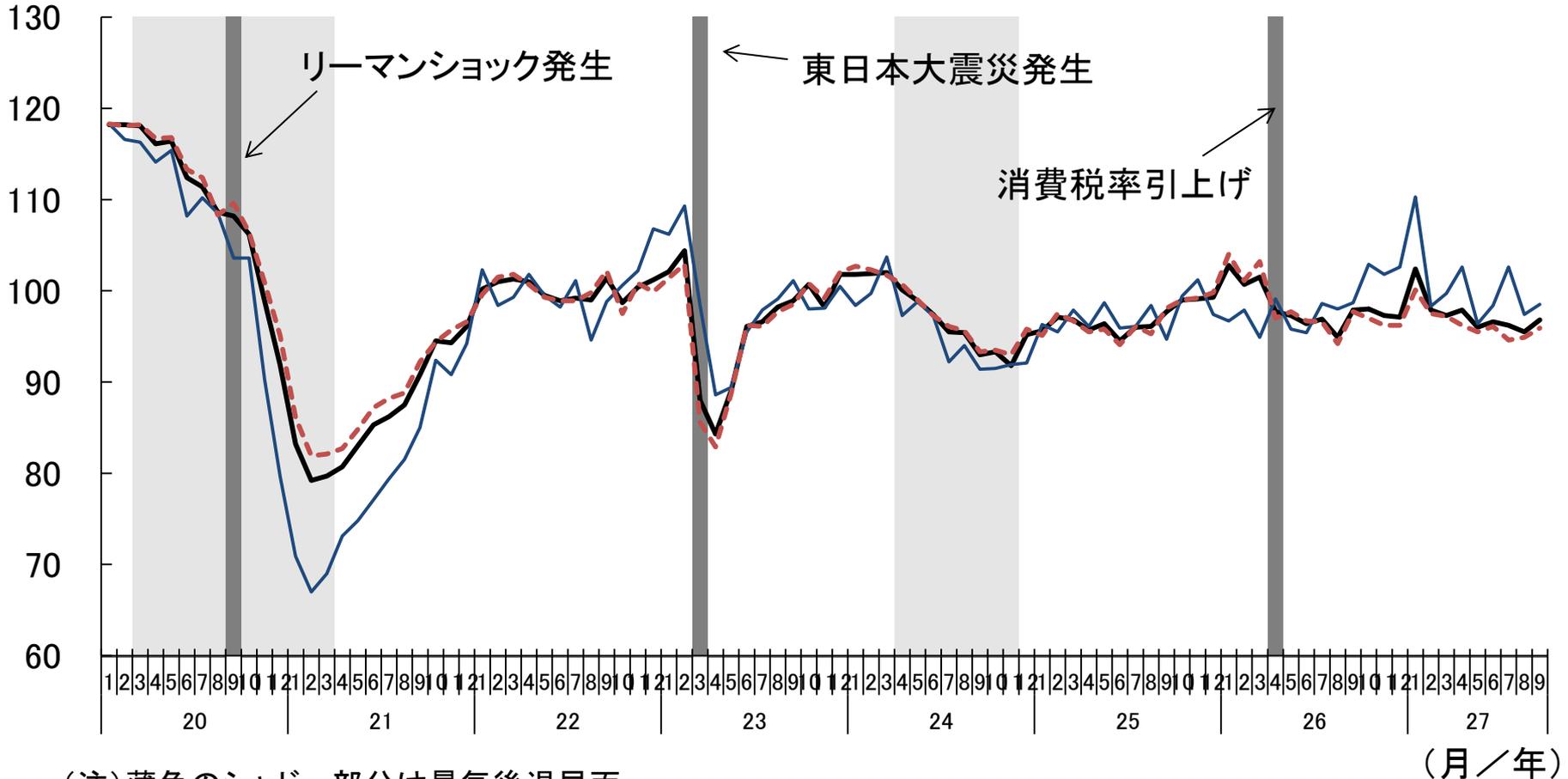


(注)その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鋳業が含まれる。

出荷内訳表の動向

- 平成27年9月の鋳工業出荷は96.8(前月比+1.4%)と3か月ぶりの上昇。
- 内訳をみると、国内向けは95.9(前月比+1.1%)と2か月連続の上昇となり、輸出向けは98.5(同+1.1%)と2か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済) — 鋳工業出荷 — 輸出向け - - - 国内向け

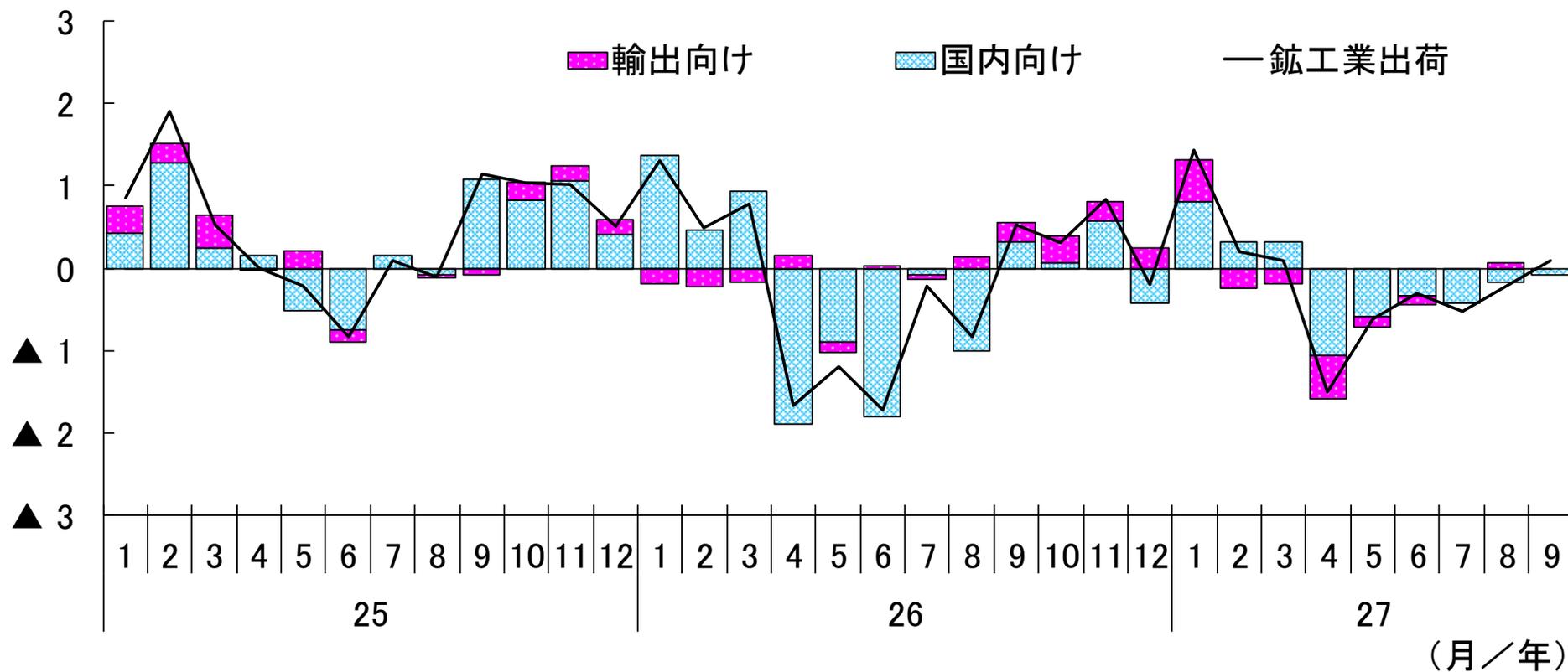


(注) 薄色のシャド一部分は景気後退局面。

出荷内訳表(後方3か月移動平均・前月比寄与度)の動向

- 後方3か月移動平均で均してみると、鉱工業出荷の前月比は上昇に転じた。内訳をみると、国内向け出荷の低下寄与が引き続き縮小。

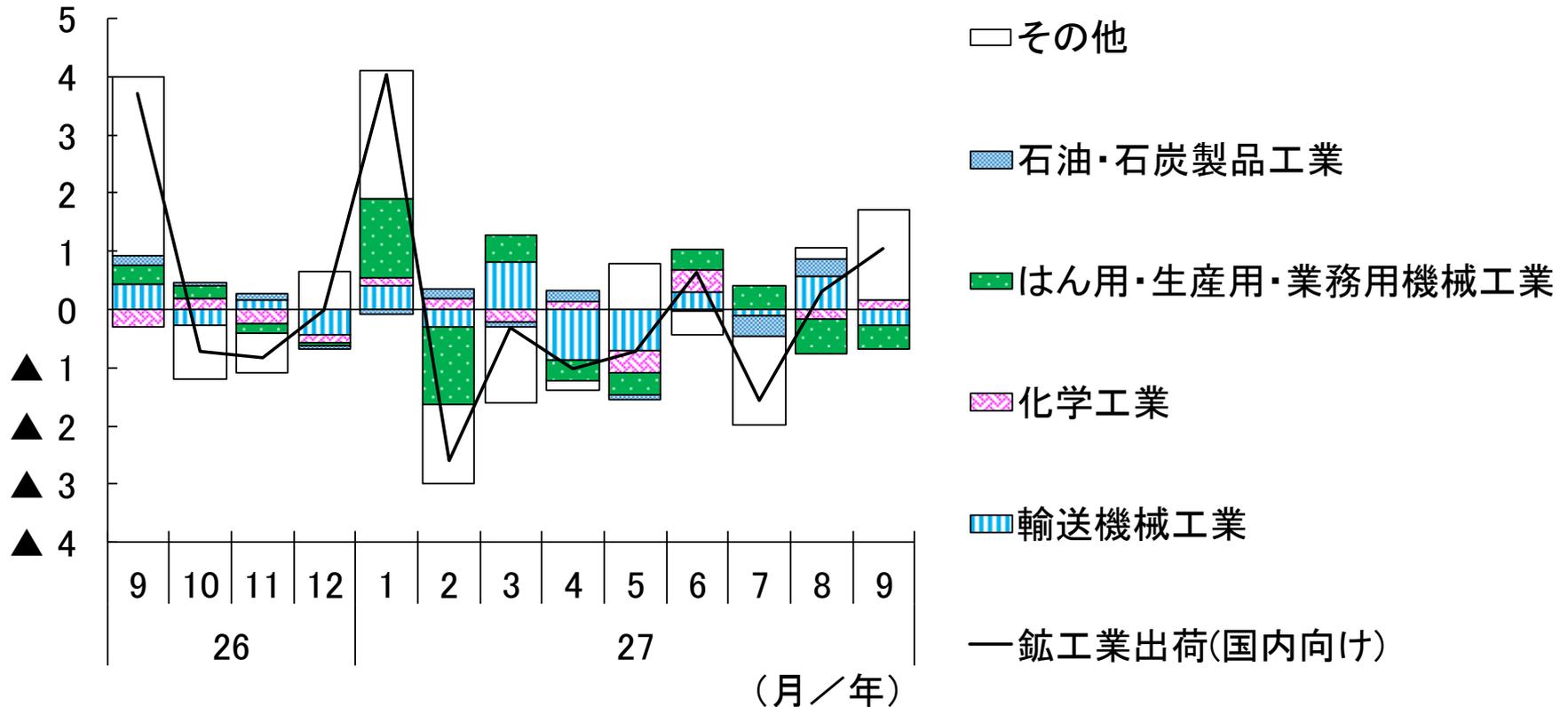
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



主要業種別・国内向け出荷の動向

- 平成27年9月の鉱工業・国内向け出荷を主要業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業などは低下したものの、化学工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

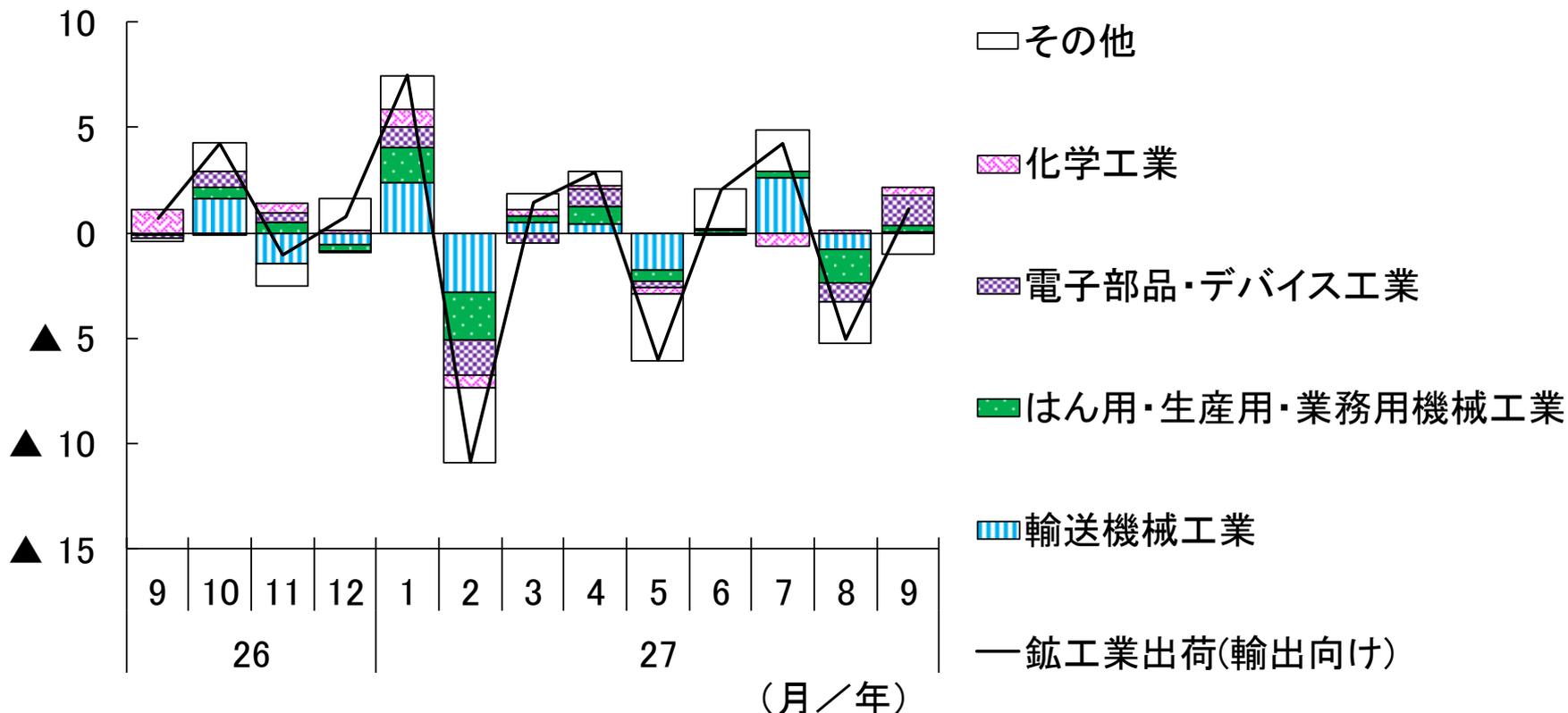


(注) 主要業種とは、鉱工業・国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)の4業種。

主要業種別・輸出向け出荷の動向

- 平成27年9月の鉱工業・輸出向け出荷を主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

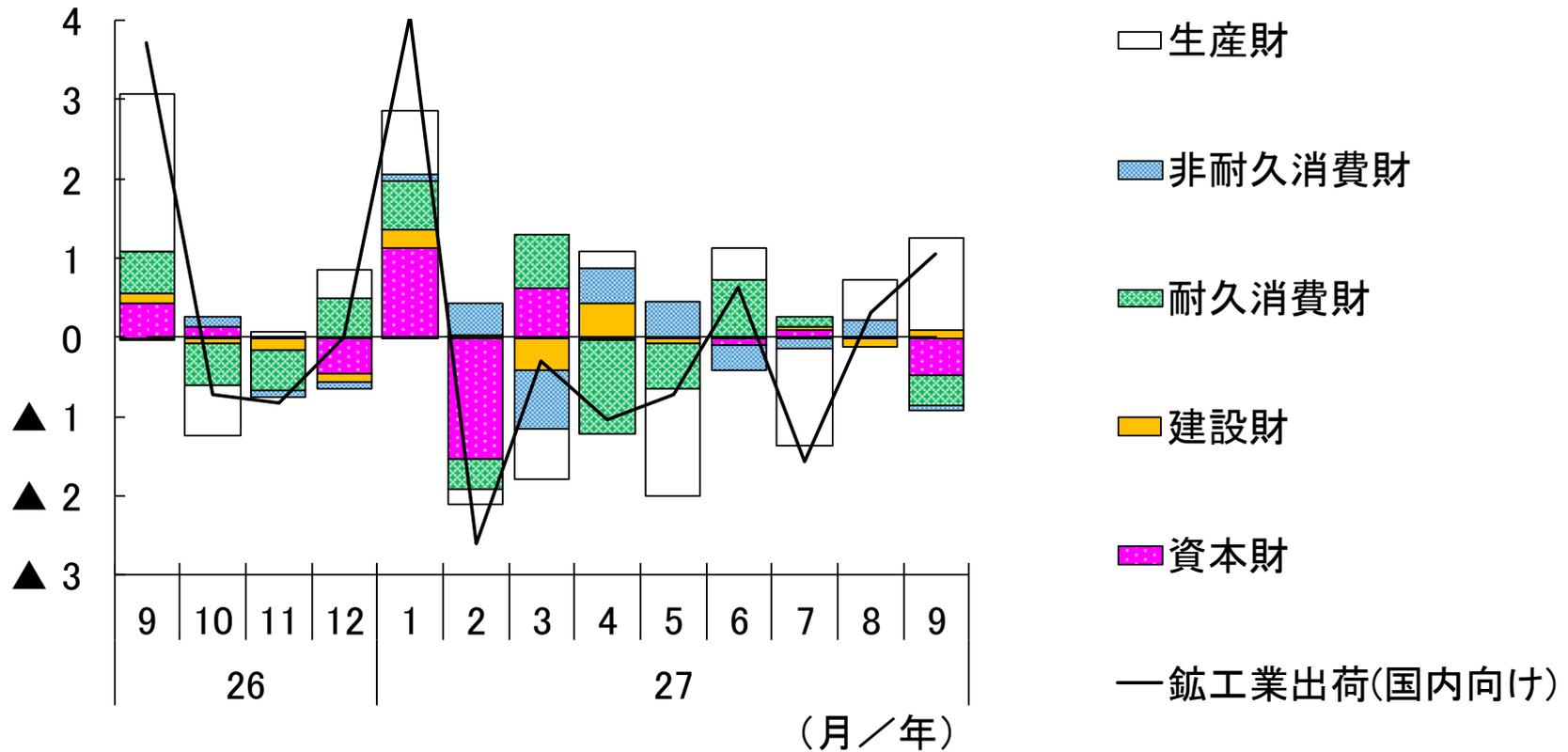


(注) 主要業種とは、鉱工業・輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

財別・国内向け出荷の動向

- 平成27年9月の鉱工業・国内向け出荷を財別にみると、資本財などが低下したものの、生産財などが上昇。

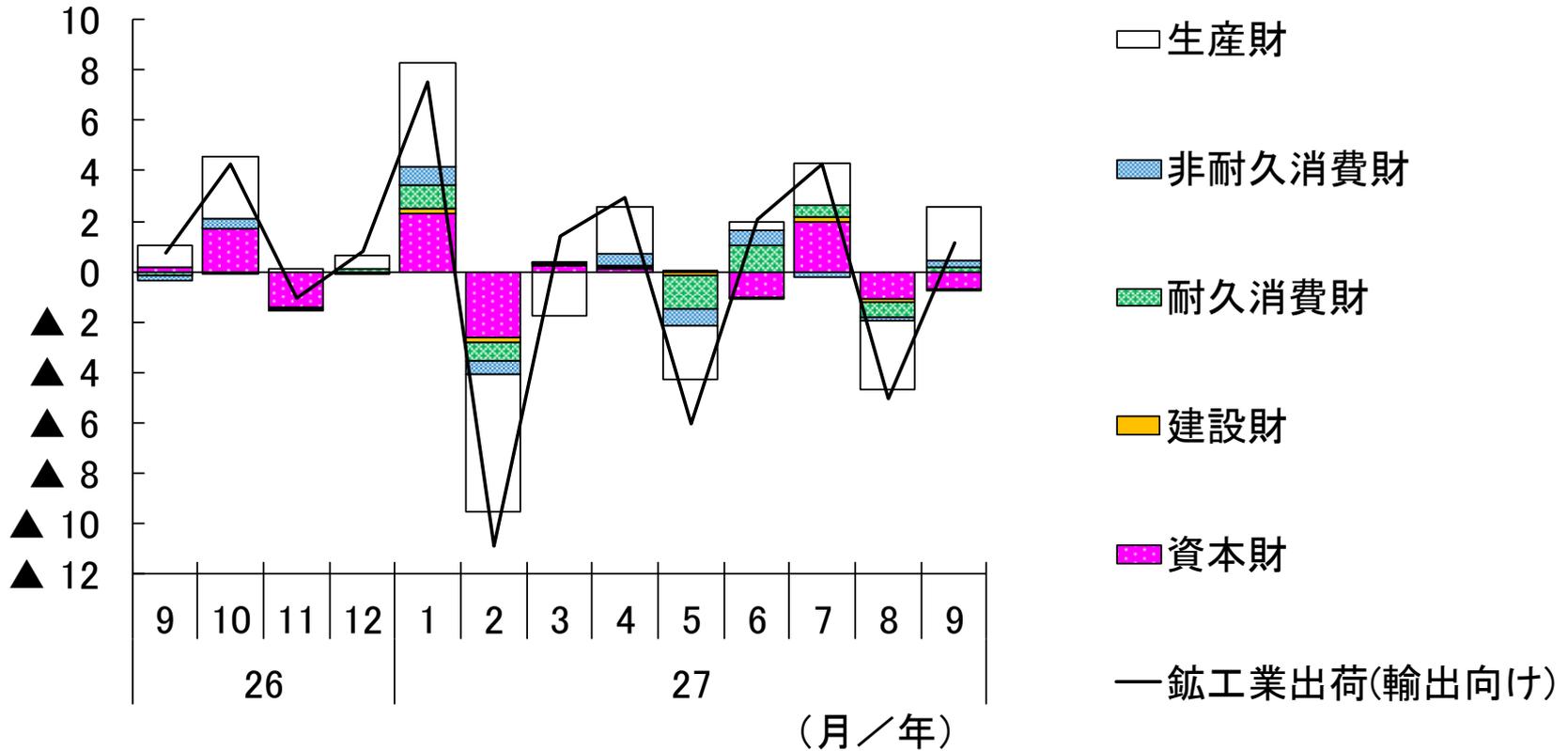
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



財別・輸出向け出荷の動向

- 平成27年9月の鉱工業・輸出向け出荷を財別にみると、資本財などが低下したものの、生産財などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



国内向け出荷の財別・業種別の変動寄与

寄与率

▲ 100%になる。出荷全体の變動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら

財別分類	前月比 (%)	寄与率 (%)
鉱工業	1.1	61.8
鉱工業用生産財	2.5	62.5
電子部品・デバイス工業	6.0	24.7
鉄鋼業	3.3	10.2
建設財	1.5	5.9
金属製品工業	6.7	10.8
はん用・生産用・業務用機械工業	3.3	0.3
その他用生産財	▲ 0.1	▲ 0.3
石油・石炭製品工業	▲ 0.5	▲ 1.0
その他工業	▲ 0.8	▲ 0.4
非耐久消費財	▲ 0.4	▲ 3.4
食料品・たばこ工業	▲ 0.7	▲ 2.6
その他工業	▲ 18.8	▲ 1.9
耐久消費財	▲ 3.0	▲ 22.7
情報通信機械工業	▲ 16.5	▲ 15.7
電気機械工業	▲ 1.9	▲ 1.5
資本財	▲ 2.5	▲ 27.8
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 5.6	▲ 30.6
輸送機械工業	▲ 9.1	▲ 29.0

(注) 試算値

輸出向け出荷の財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比 (%)	寄与率 (%)
鉱工業	1.1	16.7
鉱工業用生産財	4.3	36.3
電子部品・デバイス工業	12.0	21.4
電気機械工業	15.8	8.0
非耐久消費財	8.7	3.9
その他工業	21.1	1.3
化学工業	4.3	0.9
耐久消費財	1.4	2.7
情報通信機械工業	13.7	1.5
その他工業	15.4	1.4
建設財	▲ 3.4	▲ 1.0
プラスチック製品工業	▲ 18.7	▲ 1.7
鉄鋼業	▲ 6.1	▲ 0.3
その他用生産財	▲ 2.1	▲ 1.2
石油・石炭製品工業	▲ 8.5	▲ 2.6
金属製品工業	▲ 34.1	▲ 0.9
資本財	▲ 3.1	▲ 9.6
輸送機械工業	▲ 16.6	▲ 16.8
情報通信機械工業	▲ 0.3	▲ 0.0

寄与率

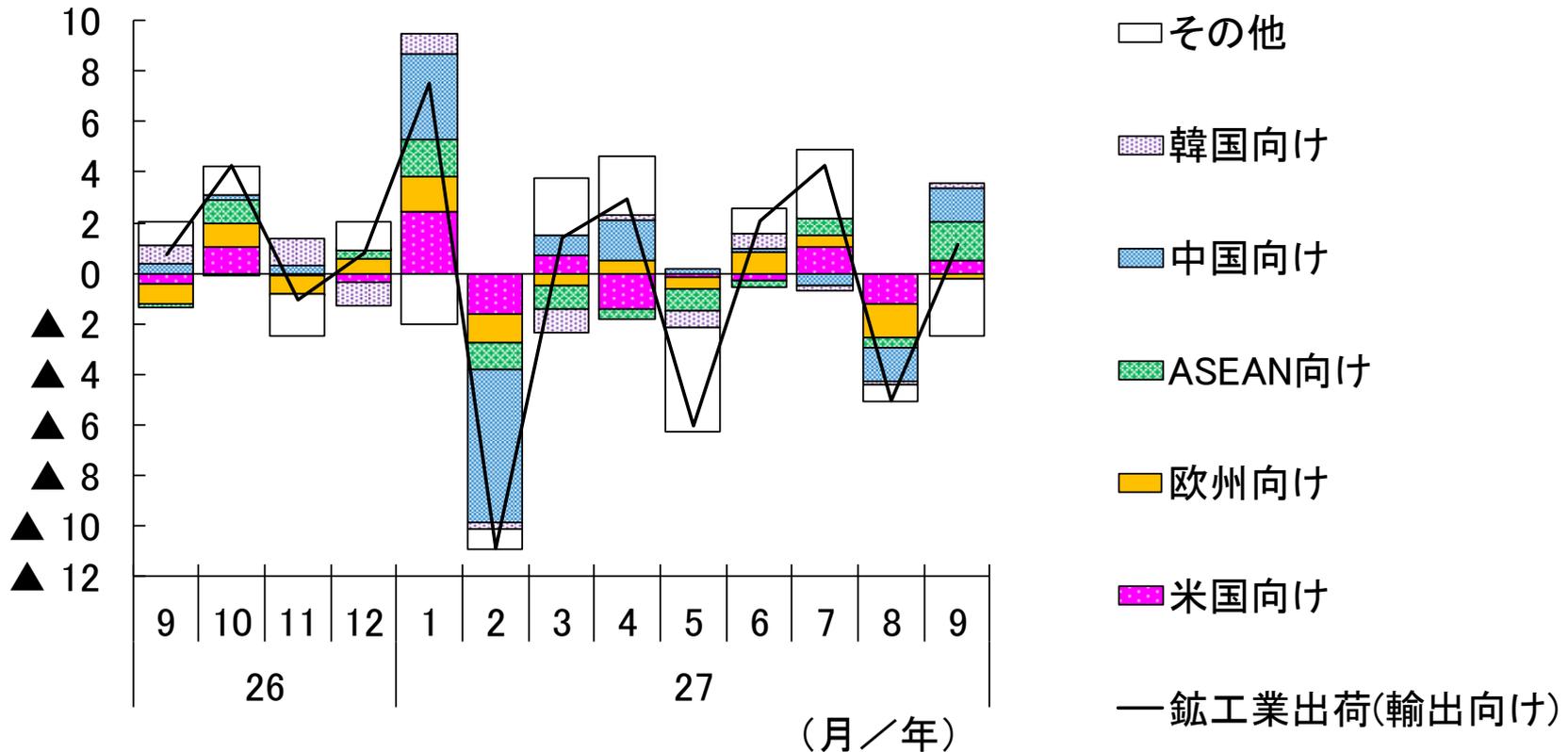
▲ 100%になる。出荷全体の變動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら

(注) 試算値

地域別・輸出向け出荷の動向

- 平成27年9月の鉱工業・輸出向け出荷を地域別にみると、ASEAN向けなどが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注)試算値

総供給表の動向

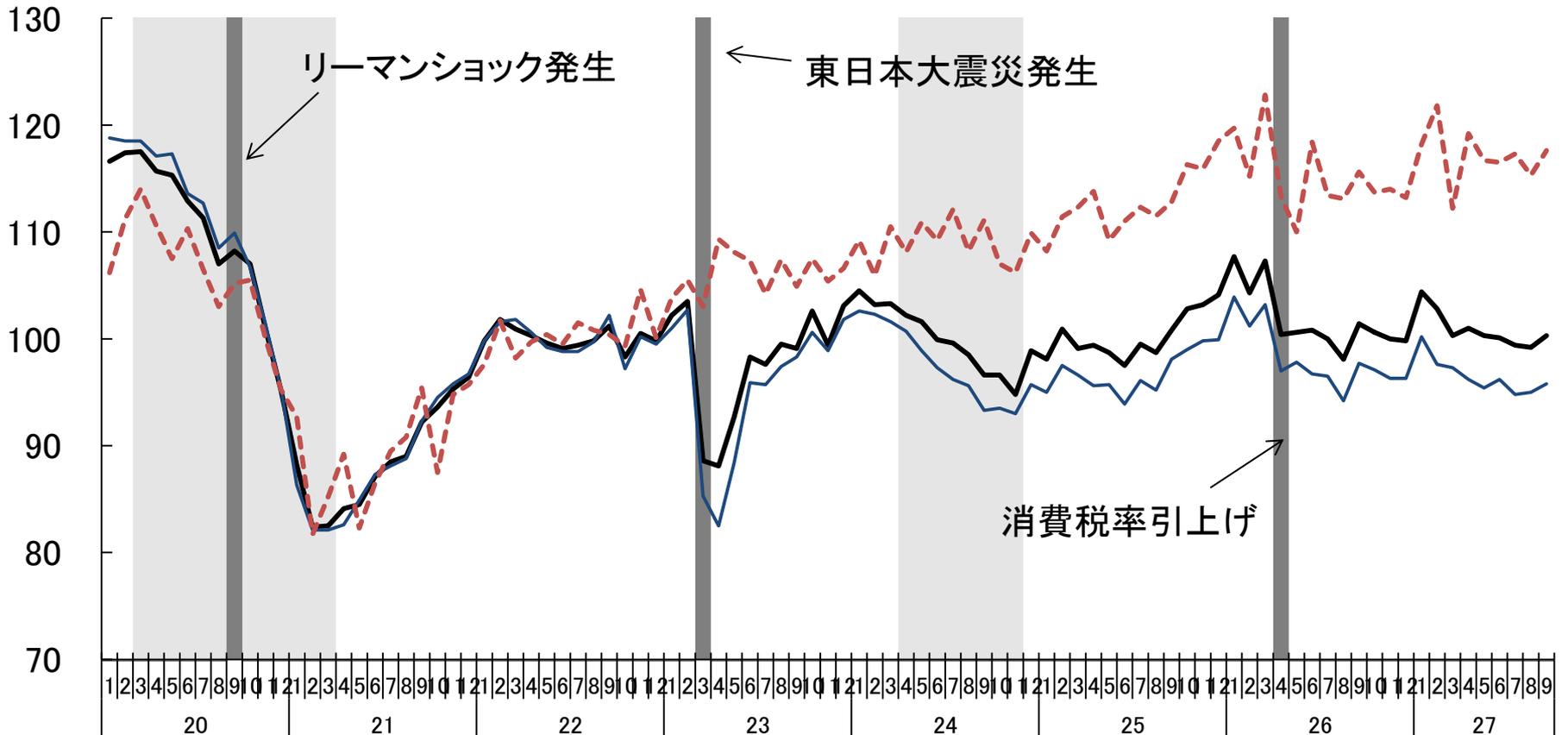
- 平成27年9月の鉱工業総供給は100.3(前月比+1.1%)と5か月ぶりの上昇。
- 内訳をみると、国産は95.8(前月比0.8%)と2か月連続の上昇、輸入は117.6(同+2.0%)と2か月ぶりの上昇。

(22年=100、季節調整済)

— 鉱工業総供給

— 国産

- - - 輸入



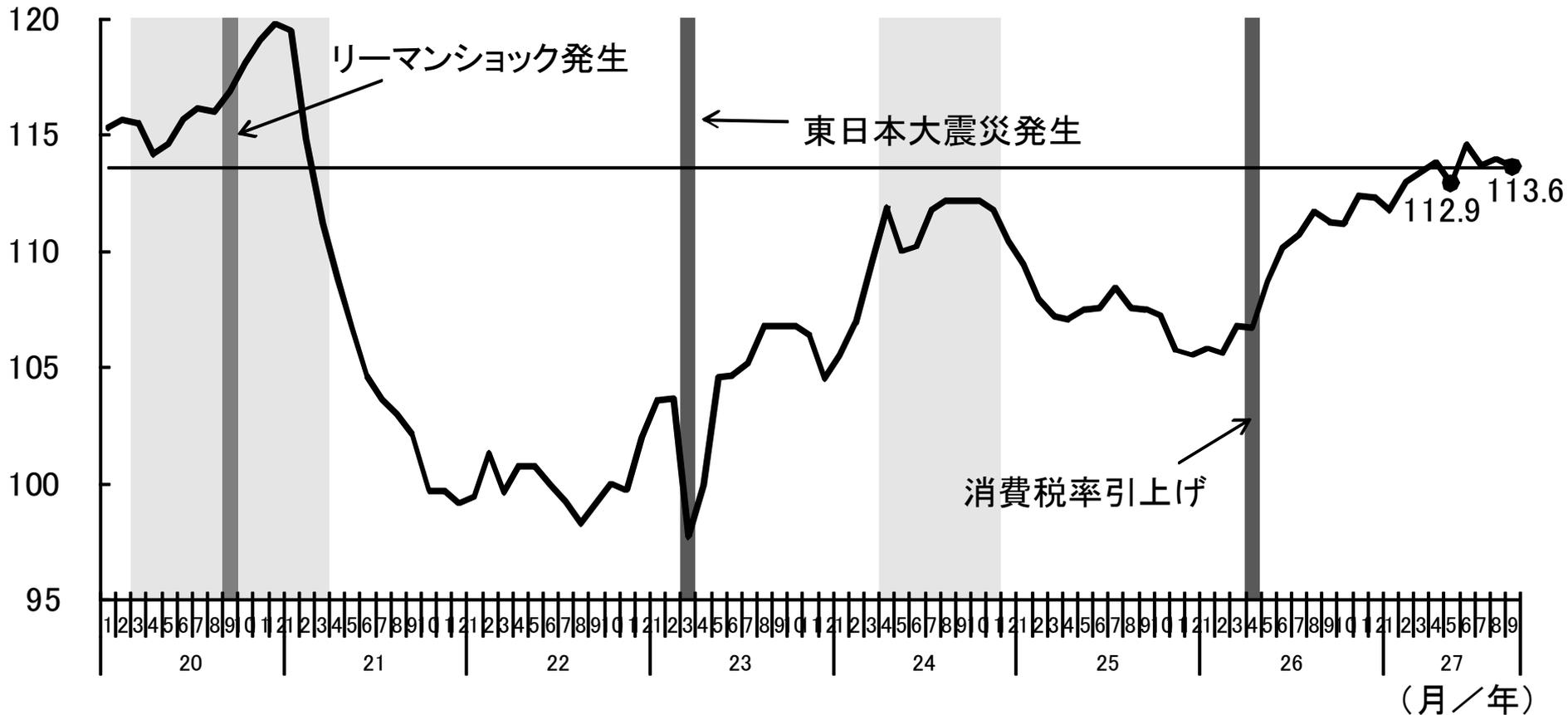
(注) 薄色のシャド一部分は景気後退局面。

(月/年)

鉱工業在庫指数の動向

- 平成27年9月の在庫指数は113.6(前月比▲0.4%)と2か月ぶりの低下。
- 平成27年5月の112.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)薄色のシャド一部分は景気後退局面。

平成27年9月 稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率	能力
季調済指数	97.4	95.1 (原指数)
前月比	1.5%	0.0%
指数水準	H27.4 99.4以来 I H20.2 119.4 II H20.1 118.8 III H20.3 118.7	22年基準 ② H27.8 95.1以来 (超) H26.8 95.0以来 I H20.11 102.0 II H20.12 101.9 ① H26.7, 8 95.0 ② H26.6, 9, H27.8, 9 95.1
前月比の動き	3か月ぶり+ (H27.6以来)	4か月連続+なし (H27.6～当月) [4か月ぶり▲停止 (H27.5以来)]
前月比幅	H27.1 3.1%以来 I H23.5 14.4% II H21.4 9.8% III H23.6 6.5%	—
前年同月比(原指数)	▲ 2.9%	0.0%
前年同月比の動き	9か月連続▲ (H27.1～当月) ・直近で9か月以上連続▲ 11か月連続▲ (H24.8～H25.6)	6か月連続▲なし (H27.4～当月) [6か月ぶり+停止 (H27.3以来)] ・直近で6か月以上連続▲なし 44か月連続+ (H17.5～H20.12)
前年同月比幅	H27.5 ▲6.8%以来 ① H21.2 ▲43.9% ② H21.3 ▲40.5% ③ H21.1 ▲35.0%	—

1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

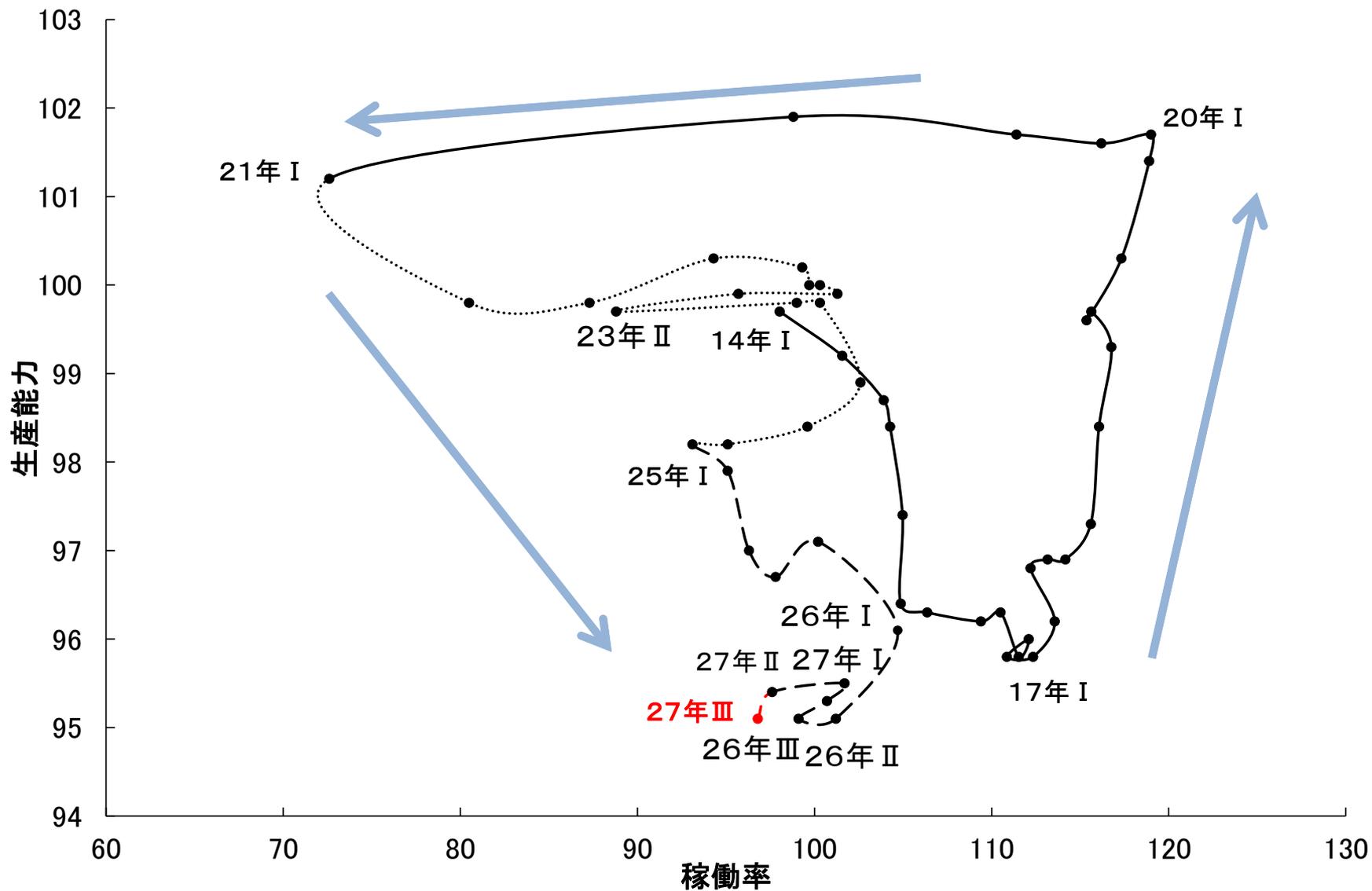
平成27年7～9月期 稼働率・生産能力指数の状況

四半期	稼働率	能力（期末）
季調済指数	96.8	95.1（原指数）
前期比	▲ 0.8%	▲ 0.3%
指数水準	H25. II 96.3以来 ①H21. I 72.6 ②H21. II 80.5 ③H21. III 87.3	22年基準① H26. III 95.1以来 ①H26. II, III, H27. III 95.1 ②H26. IV 95.3 ③H27. II 95.4
前期比の動き	2期連続▲ (H27. II ～当期)	2期連続▲ (H27. II ～当期)
前期比幅	H27. II ▲4.0%以来 ① H21. I ▲26.5% ② H20. IV ▲11.3% ③ H23. II ▲7.2%	H26. II ▲1.0%以来 ①H21. II ▲1.4 ②H26. I, II ▲1.0 ③H24. I, 25. II ▲0.9
前年同期比（原指数）	▲ 2.4%	0.0%
前年同期比の動き	3期連続▲ (H27. I ～当期) ・直近で3期以上連続▲ 4期連続▲（H24. III ～H25. II）	2期連続▲なし（H27. II ～当期） [2期ぶり+停止（H27. I 以来）]
前年同期比幅	H27. II ▲3.4%以来 ①H21. I ▲39.9% ②H21. II ▲30.7% ③H21. III ▲21.5%	—

1) ▲はマイナス

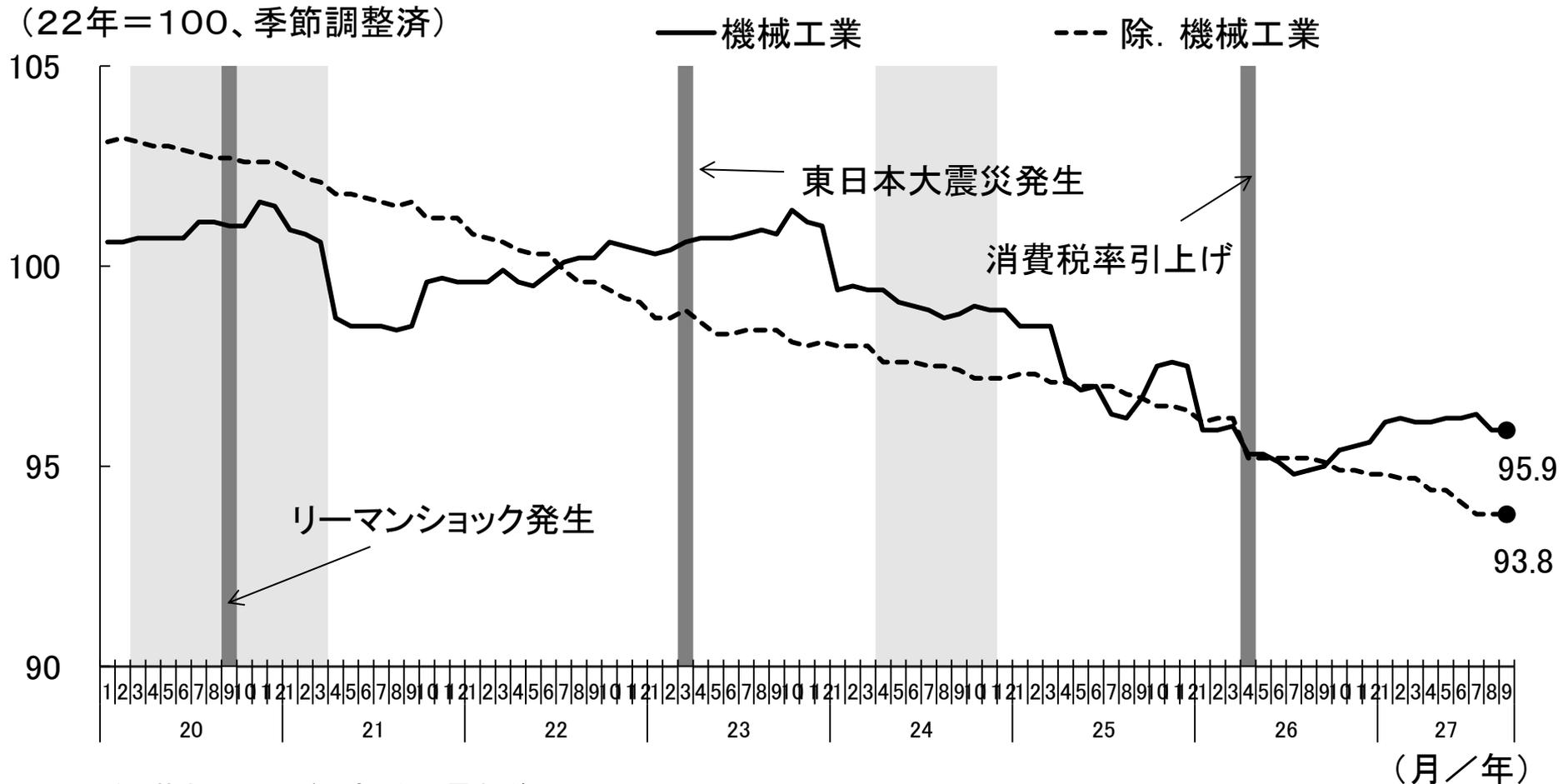
2) I～IIIは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

生産能力－稼働率の循環関係(平成22年＝100)



製造工業(除.機械工業)と機械工業の生産能力指数の動向

- 平成27年9月の機械工業は95.9(前月比0.0%)の横ばい。
- 一方、製造工業(除.機械工業)は、93.8(前月比0.0%)の横ばい。

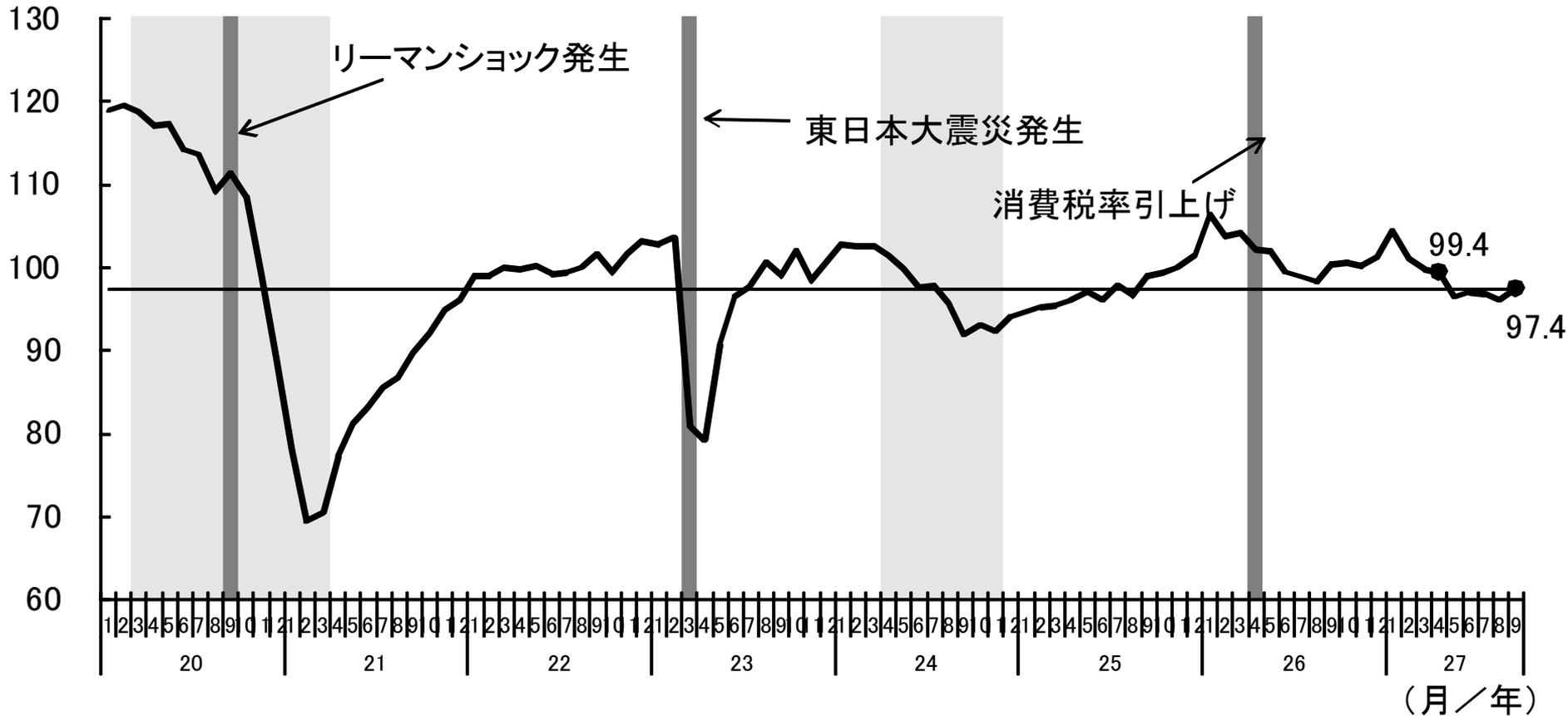


(注)薄色のシャド一部分は景気後退局面。

製造工業稼働率指数の動向

- 平成27年9月の稼働率指数は97.4(前月比+1.5%)と3か月ぶりの上昇。
- 平成27年4月の99.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



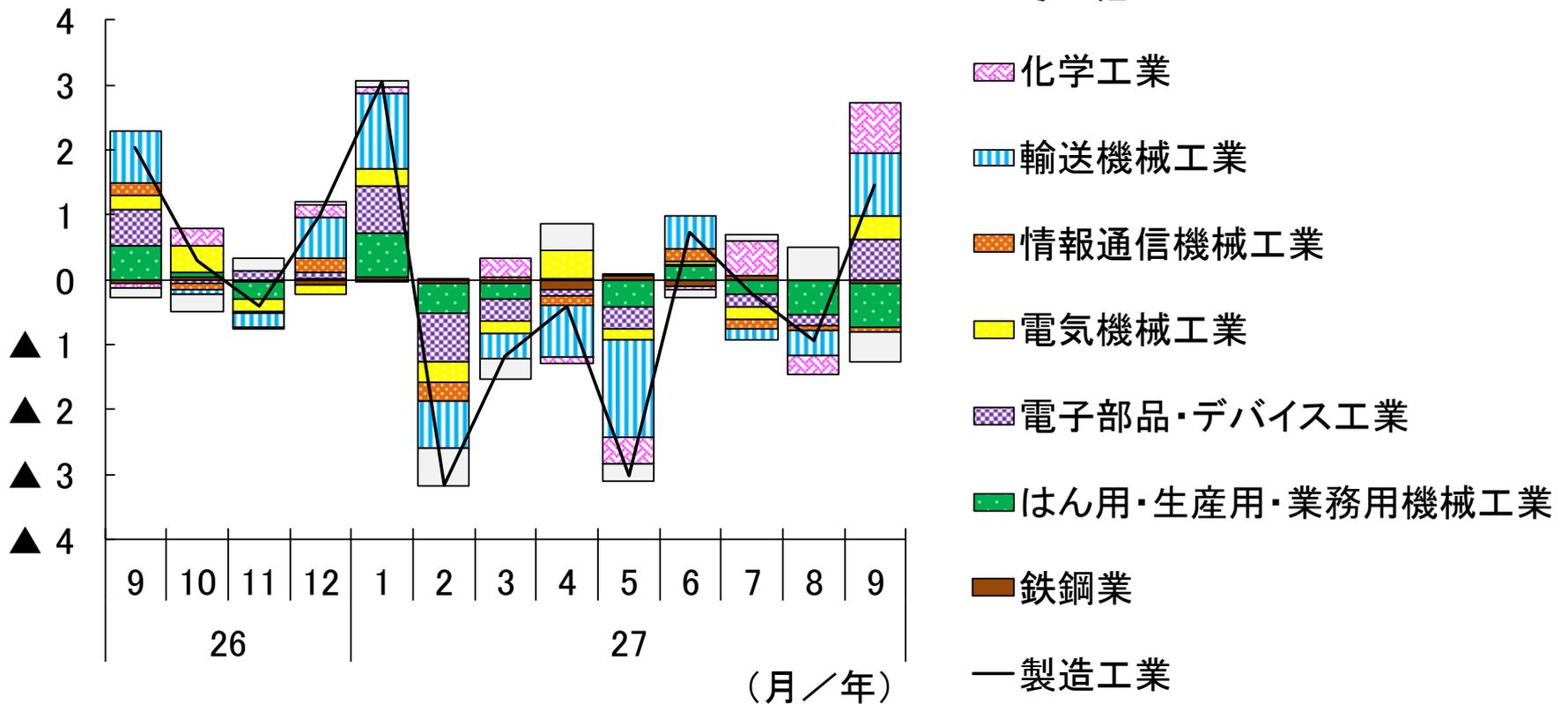
(注) 1. 製造工業稼働率指数とは、月々の製造工業の稼働率を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。

2. 薄色のシャドー部分は景気後退局面。

稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成27年9月の稼働率指数(前月比、季節調整済)は、はん用・生産用・業務用機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比+1.5%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注)その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、その他工業が含まれる。

統合指数(試算値)に対する産業別寄与度分解

- 平成27年9月の統合指数(前月比、季節調整済)の内訳をみると、鉱工業生産は前月から上昇したものの、第3次産業活動が低下したため、前月比0.0%の横ばい。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

